

打つ手は無限

滝口長久郎
神波良平一書

オレが「し」名画のことも
とmpower, 不眠症のことも
ももももも大切なもの
私に持っている

どんな時でも
どんな書し、場合でも
愚痴を言いたい
参ったと泣きながら書きたい

何か方法は無いだろうか、
何か方法はあるはずだ
周回と見回しをしよう

いろんな角度から眺めたい
人の知恵も借りてみよう
はたす何かのなにもない

かぜから打つ手は常々
無限であるからだ